案 件 名

第3次亀岡市環境基本計画(案)

公 表 日

令和4年3月18日

上記案件について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見及びこれに対する亀岡市の考え方を以下のとおり公表いたします。

意見募集期間

令和4年2月18日から令和4年3月14日まで

意 見 数

7件10項目

意見の要旨

亀岡市の考え方

P21 重点目標5 多様な生きものと共生できるまち づくり 主な指標

野生生物が安定的に生息できる最小限の個体数については、有効集団サイズ500個体以上と言われています。有効集団サイズを親しみやすい「繁殖に参加するアユモドキの親魚」と言い換えて修正を提案します。

提案内容「繁殖に参加するアユモドキの親魚の数現状 ???匹(直近の調査結果) ⇒ 目標 500匹। 御意見のとおり、P21の主な指標及びP51の主な成果 指標について、「繁殖に参加するアユモドキの親魚の 数」に修正します。

P35 施策(3)食品ロスの削減

当法人は、7月からフードドライブに取り組んでおり、家庭で不要な食品を寄付していただき、必要な方に配布しています。食品を、有効に使えると共にフードロスを減らすこともできると実感しています。エコバッグやマイボトルのように、身近でフードロスに取り組むことができる機会になると思います。フードドライブに取り組んでいるところが家の近くであれば、多くの方が食品の寄付に参加できます。持続可能な社会を目指す亀岡市だからこそ、貧困対策とフードロス削減にむけて、フードドライブに取り組んでいただきたいと考えています。

本計画では、まずは廃棄物にならないよう食べ残しや買い過ぎに注目し、3010運動や食べきり運動などの食品ロス削減の普及啓発に取り組むこととしています。御意見のフードドライブの取組は、地域の福祉施設・団体などの食を必要としている方への支援のみならず、食品ロスの削減にもつながることから、今後、関係団体・関係事業者と情報共有を図りながら食品ロスの削減に向けた取組として検討していきます。

P35 施策(3)食品ロスの削減 ②食品ロス削減 月間における普及啓発

フードドライブポストを市役所内および市内各所に 設置する、という項目を新設してください。食品ロス 対策の一つとして、フードドライブという、まだ食べら れる食品を回収する方法があります。そこで、食品 回収のためのフードドライブポストを市役所内に設 置し、市民に周知し、食品を回収できるように取り組 んでください。また、市内食品スーパー等にも設置し て食品ロスの削減を図るとともに、それらをリユース 食品として有効活用できるように図ってください。 のことが、ごみの削減につながりますし、回収した食 品を必要とする人たちに配布することで生活支援に 活用できます。市内の法人では、市内スーパーに フードドライブポストを設置しており、週平均で約 15kgの食品を回収できています。これを積算する と月に約60kg、1年間では約700kgの食品を回収 できる計算です。回収食品の中にはビンや缶の重 量、飲料や調味料などの水ものを含んでいますが、 多種類でかなりの量の食品を回収でき、結果として ごみの削減につながっています。フードドライブに取 り組む自治体は近年、非常に増加しており、全国的 に企業でも取り組んでいるところが増加していま す。亀岡市は、プラスチック製レジ袋提供禁止条例 を日本で初めて制定しました。その成果に次ぐ取り 組みとして、フードドライブポストを設置し、ごみ削減 とともに食品の有効活用に取り組んでください。

本計画では、まずは廃棄物にならないよう食べ残しや買い過ぎに注目し、3010運動や食べきり運動などの食品ロス削減の普及啓発に取り組むこととしています。御意見のフードドライブの取組は、地域の福祉施設・団体などの食を必要としている方への支援のみならず、食品ロスの削減にもつながることから、今後、関係団体・関係事業者と情報共有を図りながら食品ロスの削減に向けた取組として検討していきます。

P38 生活環境の保全

生活環境の保全について、王子並河線は10年前に 大きな事故があったにも関わらず、未だに車の事故 件数も多く、必要な歩行者の安全対策がとられてお りません。歩行者や自転車が安全に移動出来る様 に、ガードレールやポール、信号や街灯を増やしてほ しいです。このままだと子供だけで外に遊びに行くこ とが出来ません。9号線の国道ですら、途中から安 全に歩ける歩道がありませんし、夜は暗すぎます。ど うか改善のご検討いただけますよう、お願いいたし ます。

道路の交通安全対策の内容であると思われますが、 本計画では、P27「施策(4)環境に配慮した交通手段 の推進」において、「②道路交通体系の整備推進」を 掲げており、交通安全対策も考慮した取組として進め ていきます。

P38 生活環境の保全

生活環境では、住宅の前の雨水側溝が、不衛生で 悪臭がしています。やはり住環境を改善し、子供達 も安心して遊べる環境が必要。ボールが側溝に落ち て、手で拾いまた遊ぶ。手に切り傷があれば破傷風 菌の心配もあります。ぜひ健康に快適に過ごせる住 宅前の側溝になればと思います。

地域における環境美化の活動については、自治会などが主体的に清掃活動を行っておられるところであり、本計画では、P41「施策(2)不法投棄対策・ポイ捨て対策等の推進」の「③美化活動の促進」において、地域における清掃活動への支援や定期的清掃活動イベントを実施し、美化活動を促進することとしています。

P46 自然との共生

亀岡市に住んで57年になります。ここ数年、住人 (人間)にとっては道路も整備され、何度となく水害 に見舞われた地域だけに、水害から守る整備も着々 と進んでおり感謝です。その反面、自然がどんどん 失われて蛍や蛙、鳥類、魚など、この地に住んでい た動物や生き物の棲家が無くなり、見られなくなりま した。2019年7月31日夕方、用水路で息絶えた沢 山の魚達を見てしまい、散歩途中でしたがあまりの 数の多さにびっくりしてしまいました。いてもたって もいられなかったのでその状況を改善する方法はな いのかとある議員さんに聞いてみたところ、丁寧に 対応してくださったものの、田んぼの関係で不可能 だと言われ諦めておりました。写真はその時の様子 で、まだ息のある魚たちを、救助して少しの間家で 様子をみて、大川へと放流しました。その中には、タ ナゴやどじょう、ムギツク?のようなものまで数百匹 の魚が死んでいました。今回は亀岡市環境基本計 画案に5 つの重点目標とされている中の5.多様な 生きものと共生できるまちづくりと掲げておられるの であれば、人間重視も大切ですが、生き物も暮らし やすい環境に整えて頂きたいと節に思い、思い切っ て意見投稿しました。せめてこの時期、人間の都合 で作られた用水路であっても魚達が生きられる水 量を流し続けることはできないのでしょうか?どうし ても止めないといけない理由があるのなら、魚達が その用水路に入れないようにするなどの方法がない のでしょうか?元々は、魚達の生きる場所だったの にと思います。

本計画では、人と生きものにもやさしく、多様な生きものが共に生き続けるまちを目指すため、「重点目標5多様な生きものと共生できるまちづくり」と「施策分野4自然との共生」を定め、施策とその取組内容をお示ししているところですが、身近な生物の生息環境の保全に取り組む中で、生きものが暮らしやすい環境づくりを進めていきます。

P46 自然との共生

近年蛙の声がうるさい、などと言う苦情を耳にしたこ とがありますが、亀岡の夏は蛙の声、フクロウの声、 秋は虫の声と自然が豊かでした。特に馬路方面は、 田んぼが多く夕景もとても綺麗です。5月頃になると 蛙達が沢山道路を横断していきます。特に、南丹高 校前の道から直線に25号線に向かって走る道、農 業公園の周りの道など、田んぼと隣接している道 は、近年車の量が増え、轢き殺された蛙達が沢山道 路に見られて、生きてる蛙を避けようとしても、後ろ の車に気を使いスピードを落とせない時はパチンパ チンと、音がします。蛙を潰す音です。それを聞くの がいやで、出来るだけ通らないようにしていますが、 |昨年は25号線が開通してその道路は田んぼより少 し高くなり今の状況がどう変わったかはわかりませ ん。自然保護に力を入れている海外でみられるよう に、道路の脇を少し高くするなどして野生動物を道 路に入れないようにするなどができればいいのです が、カエルが横断するような所、沢山見られるような 所に生き物マークを立てて慎重に通ってもらうな ど、小さいものでも命を守ろうとする意識を高めて もらえるのではないかと思います。そうすることで、 亀岡市は生き物を大切にしている道路もあり共存し てるというアピールにもなると思います。

本計画では、人と生きものにもやさしく、多様な生きものが共に生き続けるまちを目指すため、「重点目標5多様な生きものと共生できるまちづくり」と「施策分野4自然との共生」を定め、施策とその取組内容をお示ししているところですが、身近な生物の生息環境の保全に取り組む中で、生きものが暮らしやすい環境づくりを進めていきます。

P46 自然との共生

千代川から並河河川敷あたりにある竹藪が少しずっ、開拓され少なくなっていますが、昔はこのあたりに住まれていた先人や亡き母親も、亀岡の昔、この辺りは沼地で地盤が弱いけどこの竹藪のお陰で地盤を守ってくれている。竹の根っこはすごいから、地震がきてもこのあたりの家は潰れないと。これが根拠があることなら、これから地殻変動など起こりやすい時代に入り、この竹藪も少しは役にたつのではないかと、意味があって、そこに生えているのではないかと、思っています。また景観も、霧の中に浮かぶ竹藪とそこから見える亀岡の山々は幻想的で、野鳥や渡り鳥にとっても竹藪がある事で、居心地いい場所ではないかとおもいます。

本計画では、「施策分野3 生活環境の保全」において、P44「施策(4)ふるさとの保全」の中で里地里山の維持やふるさと亀岡の景観保全に取り組むこととしており、本市の豊かな自然環境を守っていきたいと思います。

P47 4自然との共生 施策(1)生物多様性の保全 具体的施策と取組内容 ②希少な野生動植物種の 保全

絶滅が危惧される動植物の保全について、必要な 保全対策を講じることを提案します。

提案内容「・絶滅が危惧される動植物について、国、 府、NPO法人などの関係機関等と連携して情報共 有を図るとともに、科学的な知見を基に必要な保全 対策を講じます。」 御意見のとおり、「関係団体と連携して情報共有を図るとともに、必要な保全対策を講じます。」に修正します。

亀岡市の自然は霧がとても多い気候ですこし息がしにくい時も有り、視界が悪い時もあります。52年間、過ごしていると霧がとても苦労します。雪や雨、かみなり等は少なく公害、災害はさほど苦にならないのですが、最近は3月頃なので過ごしやすい季節で、近畿地方は日本大陸の真ん中で地形、地球儀の通りだと思う。九州地方は雨の災害が多く、田畑の稲作に影響が有ると聞き、近畿地方は環境に恵まれていると分かる。環境は以前から興味が有り、イオンの空気も好きで扇風機もイオンが出るものを購入していました。

本市の気候的特徴である霧は、本市を象徴する自然景観であり、霧による幻想的な風景は、かめおか霧のテラスなどの観光資源となっています。本計画では、「施策分野5 亀岡ブランドの創造・発信」のP54「施策(2)エコツーリズムの展開」の中で、本市の豊かな自然環境を有効活用することで新たな観光資源を創造し、環境のみならず地域経済の活性化を図っていくこととしています。